

報告書 資料集

(図 1-17)

図 1 a 過去 50 年間の麻疹患者数と麻疹が死因として報告された死亡者数

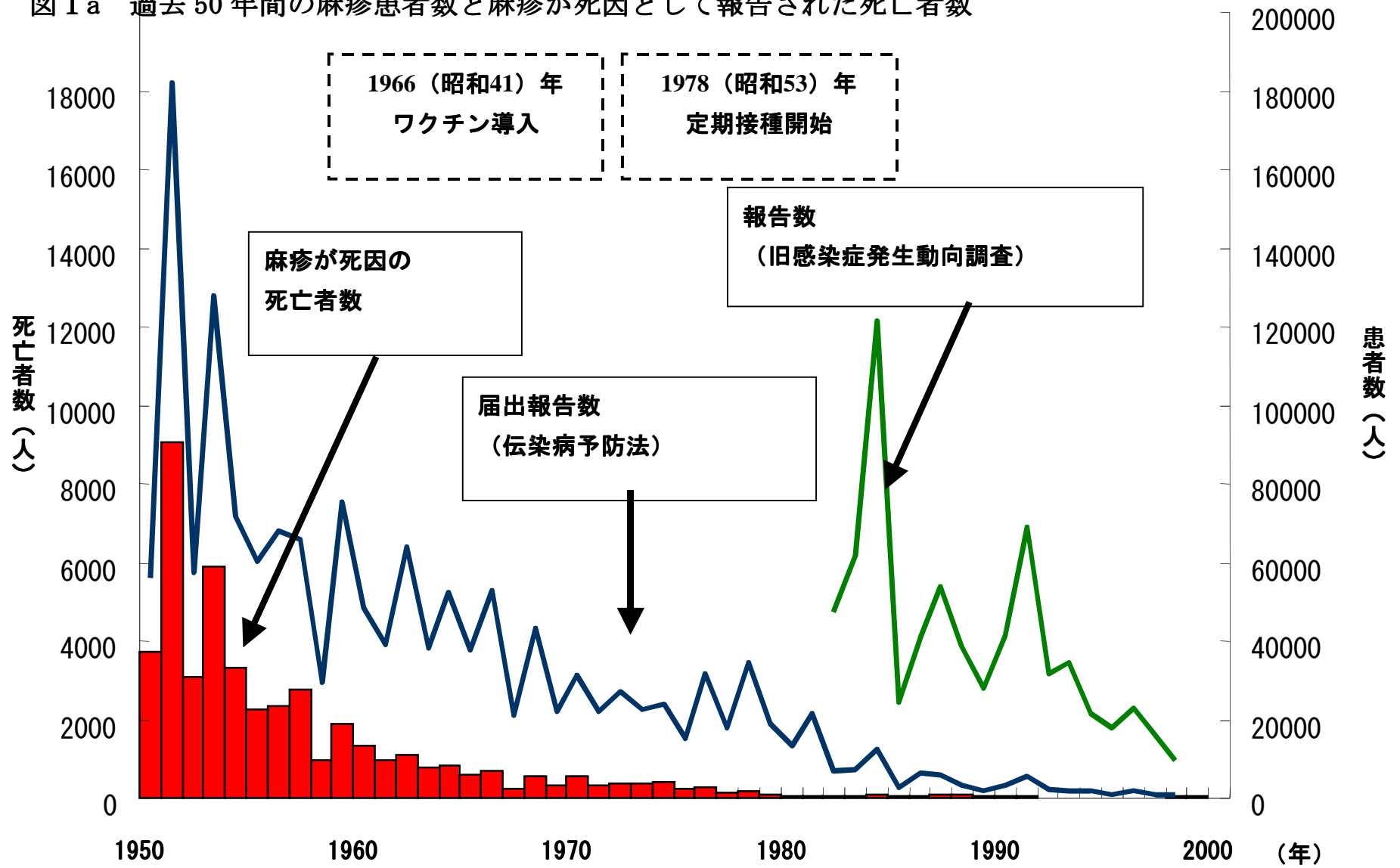


図 1 b 過去 20 年間に麻疹が死因として報告された死亡者数

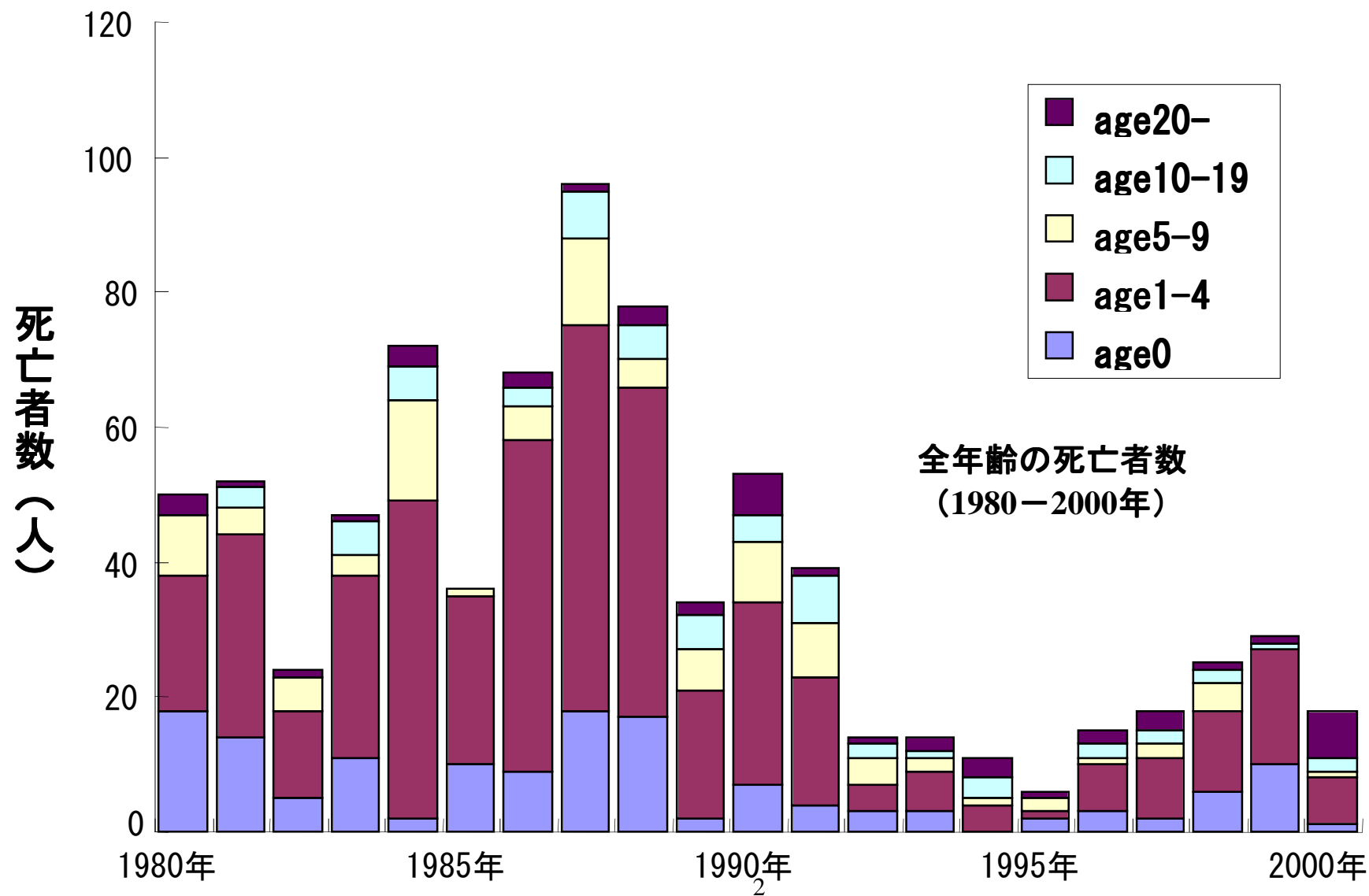


図 1c 過去 20 年間に麻疹が死因として報告された乳幼児死亡者数

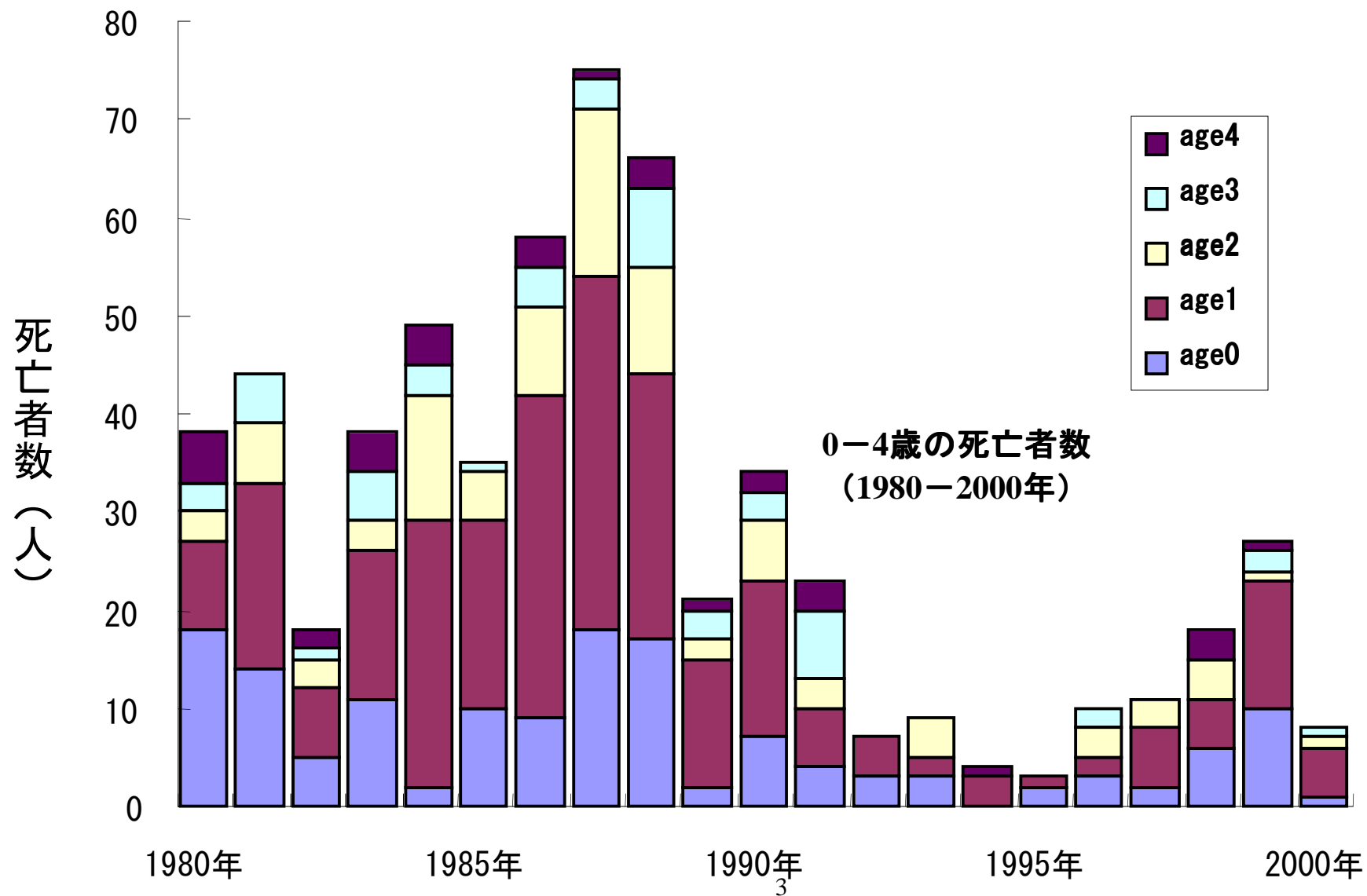


図2 2000(平成12)年大阪麻疹流行時調査結果
 (有効調査数 4260 例; 2001(平成13)年度大阪感染症流行予測調査会報告)

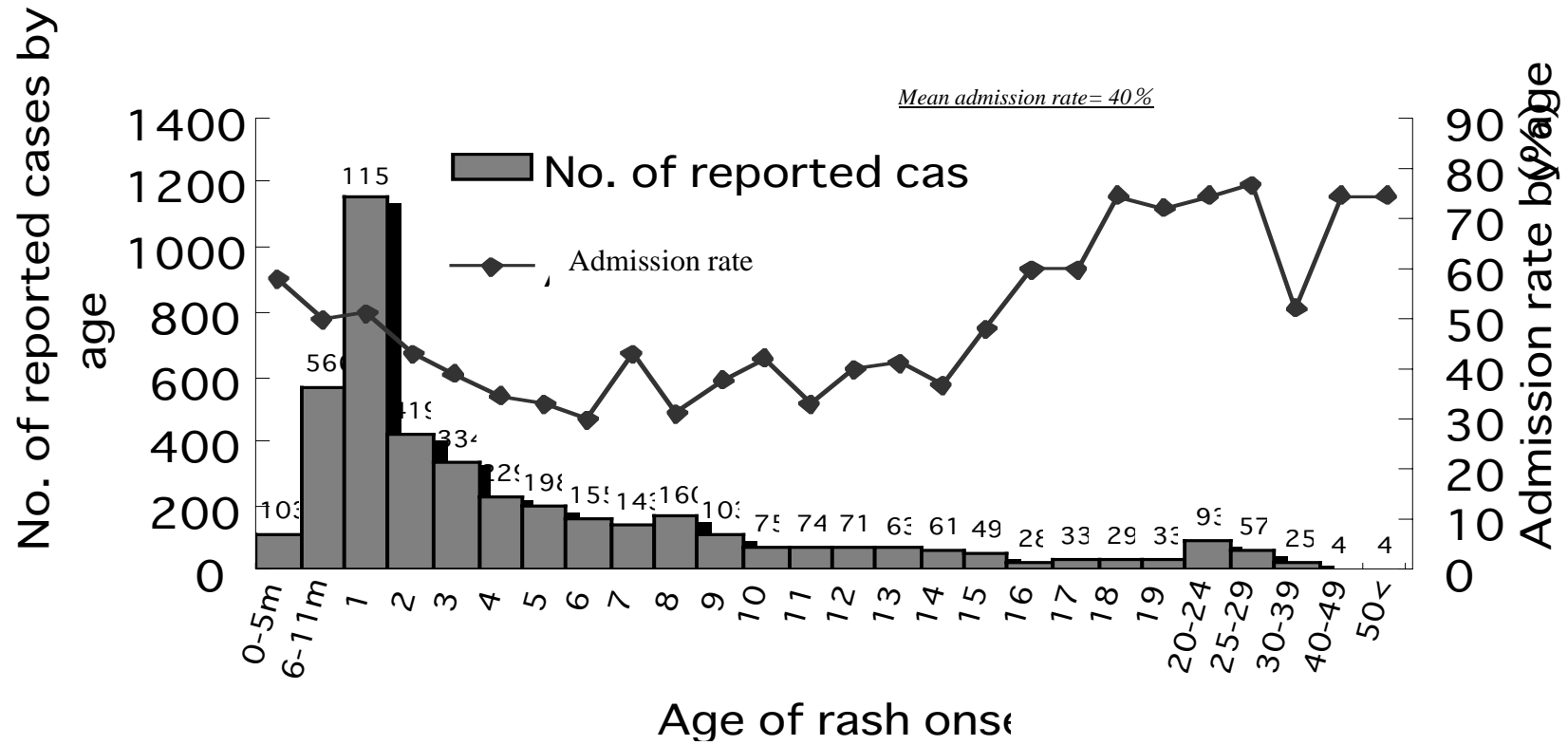
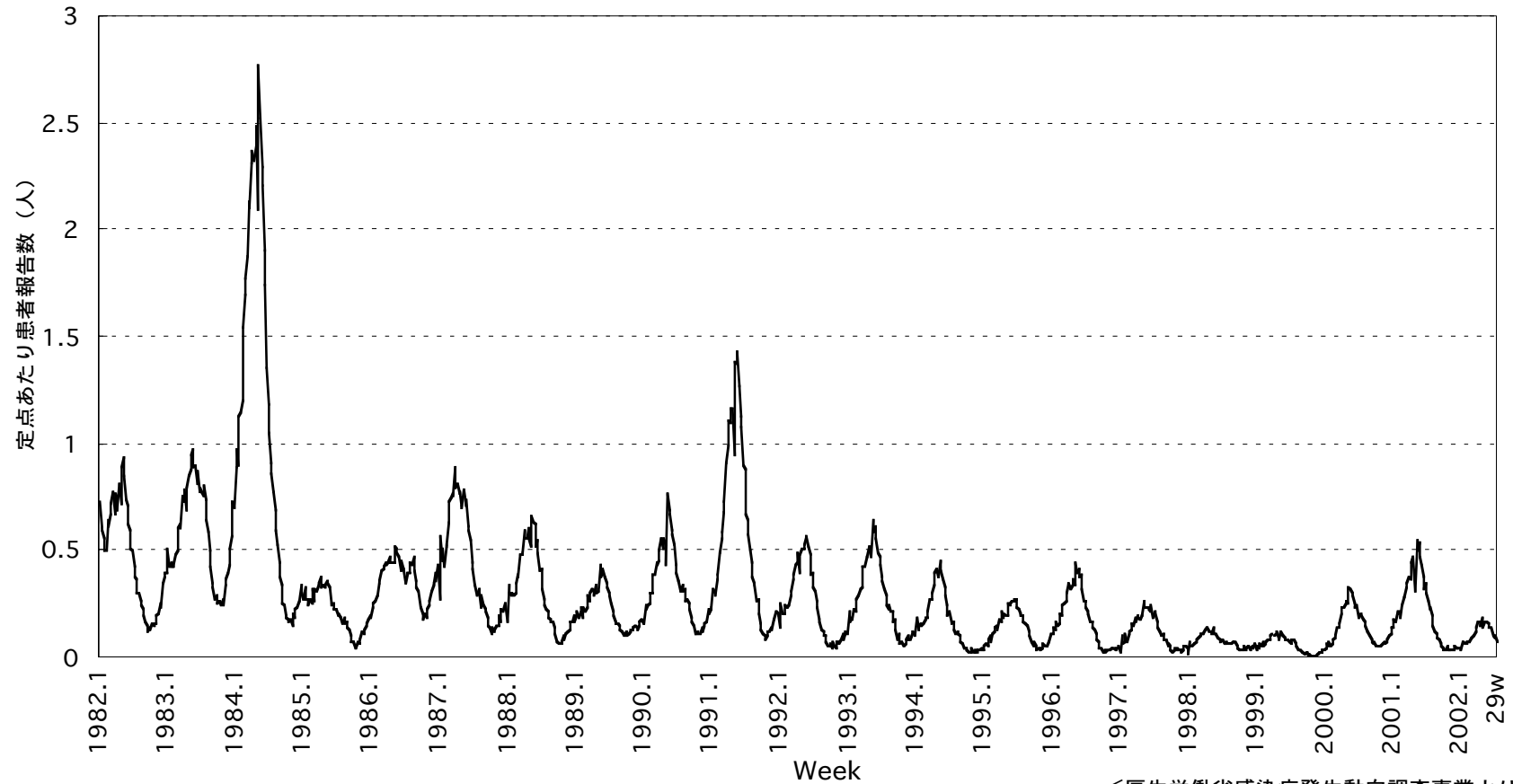


図3 週別小児科定点あたり麻疹患者報告数(1982(昭和57)年1週～2002(平成14)年29週)



<厚生労働省感染症発生動向調査事業より>

図4 週別基幹病院定点あたり成人麻疹患者報告数（1999(平成11)年14週～2002(平成14)年33週)

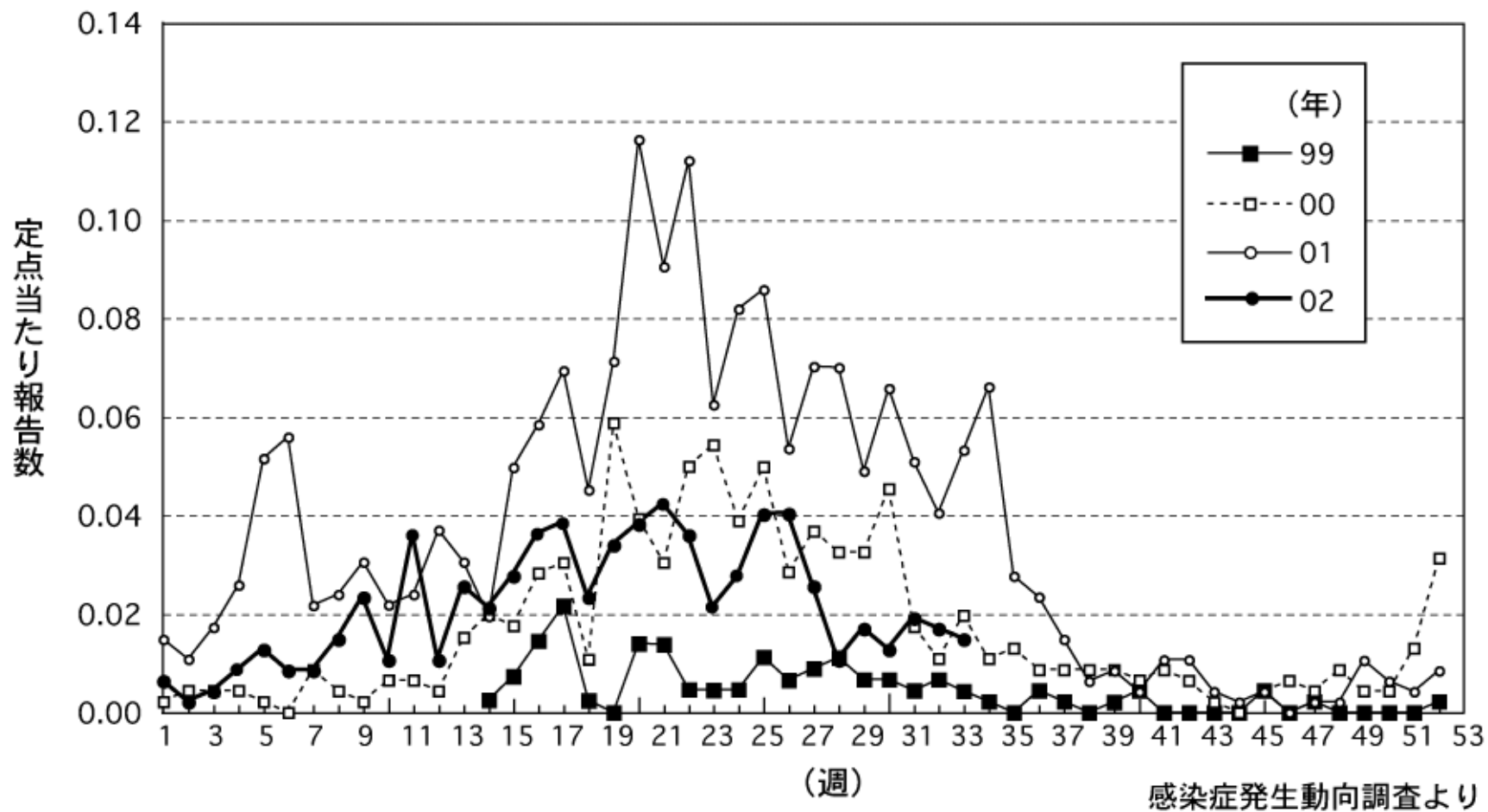


図5a 小児科定点からの麻疹年齢階級別患者報告数
(1999(平成11)年14週～2002(平成14)年29週累計) 感染症発生動向調査より

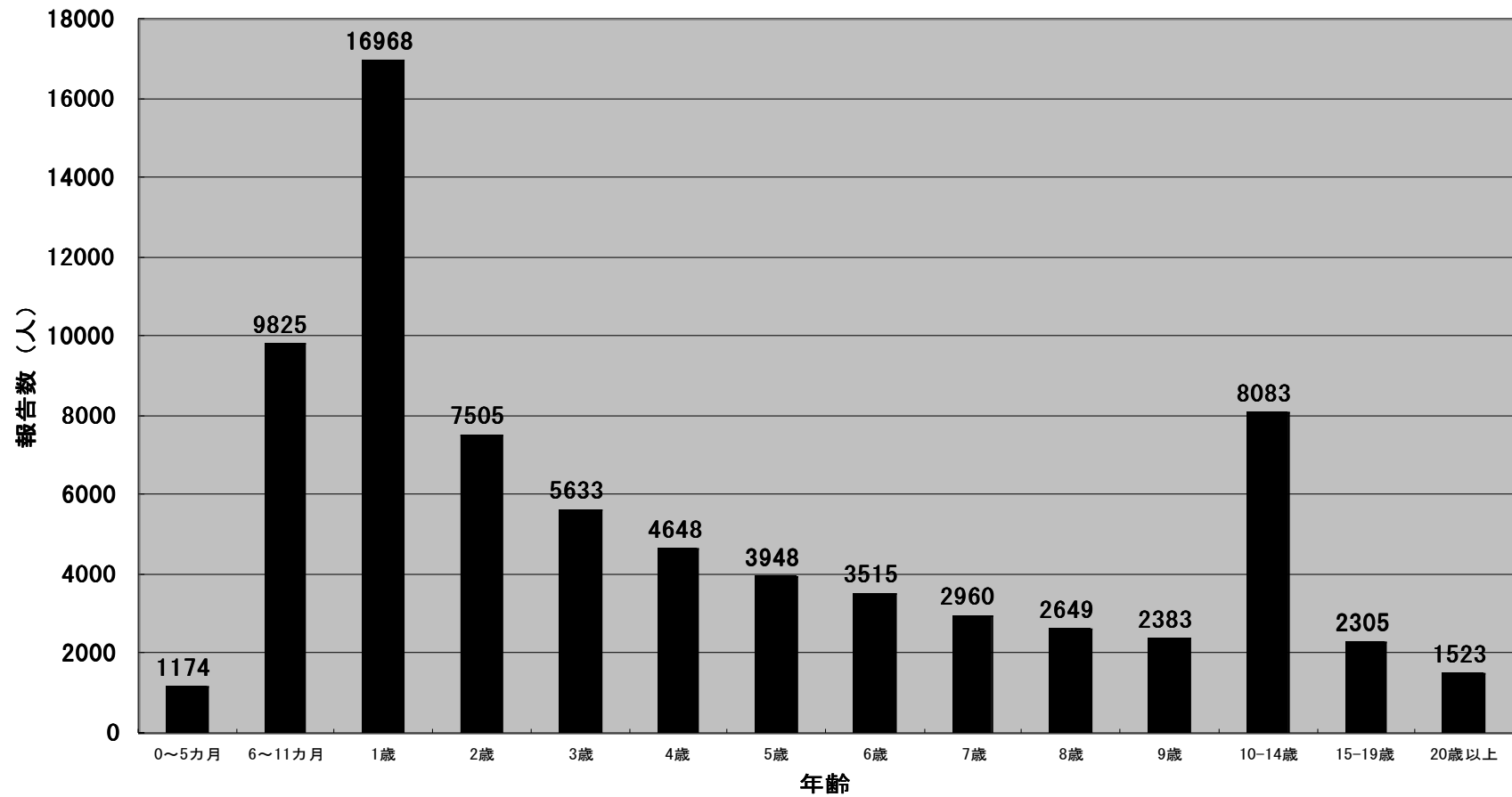


図 5b 小児科定点からの麻疹年齢階級別患者報告数
(1999(平成 11)年 14 週～2002(平成 14)年 29 週累計) 感染症発生動向調査より

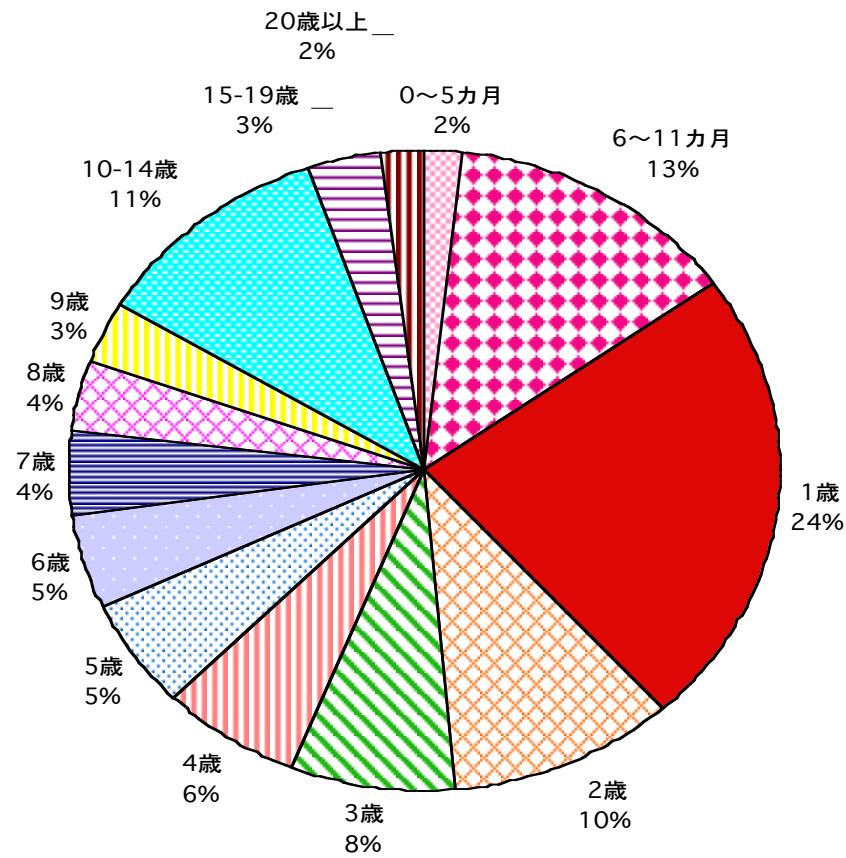


図6 基幹病院定点からの成人麻疹年齢階級別患者報告数
(1999(平成11)年14週～2002(平成14)年29週累計) 感染症発生動向調査より

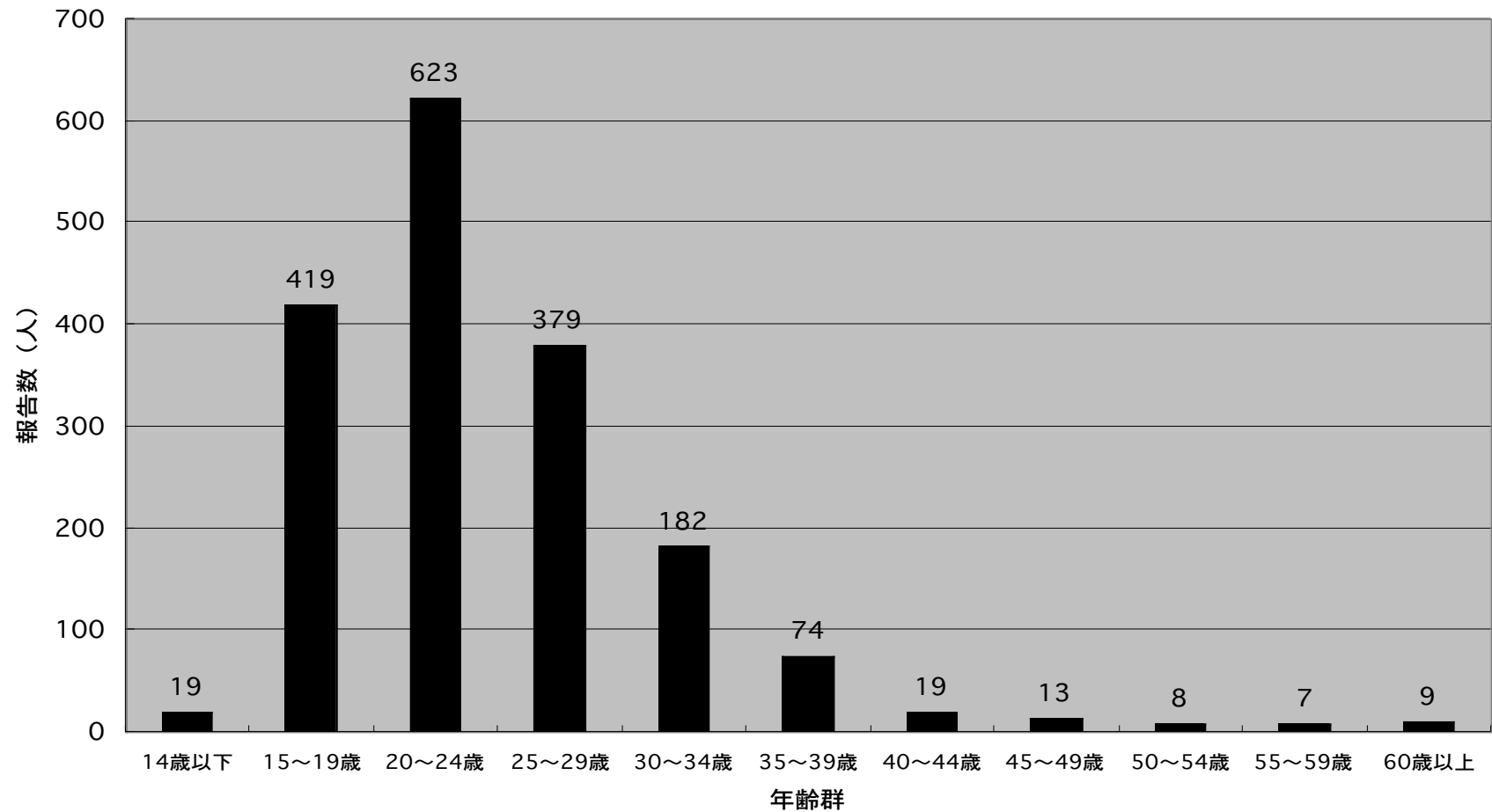


図7 週別小児科定点あたり麻疹患者報告数 (1992(平成4)年1週~2002(平成14)年33週)

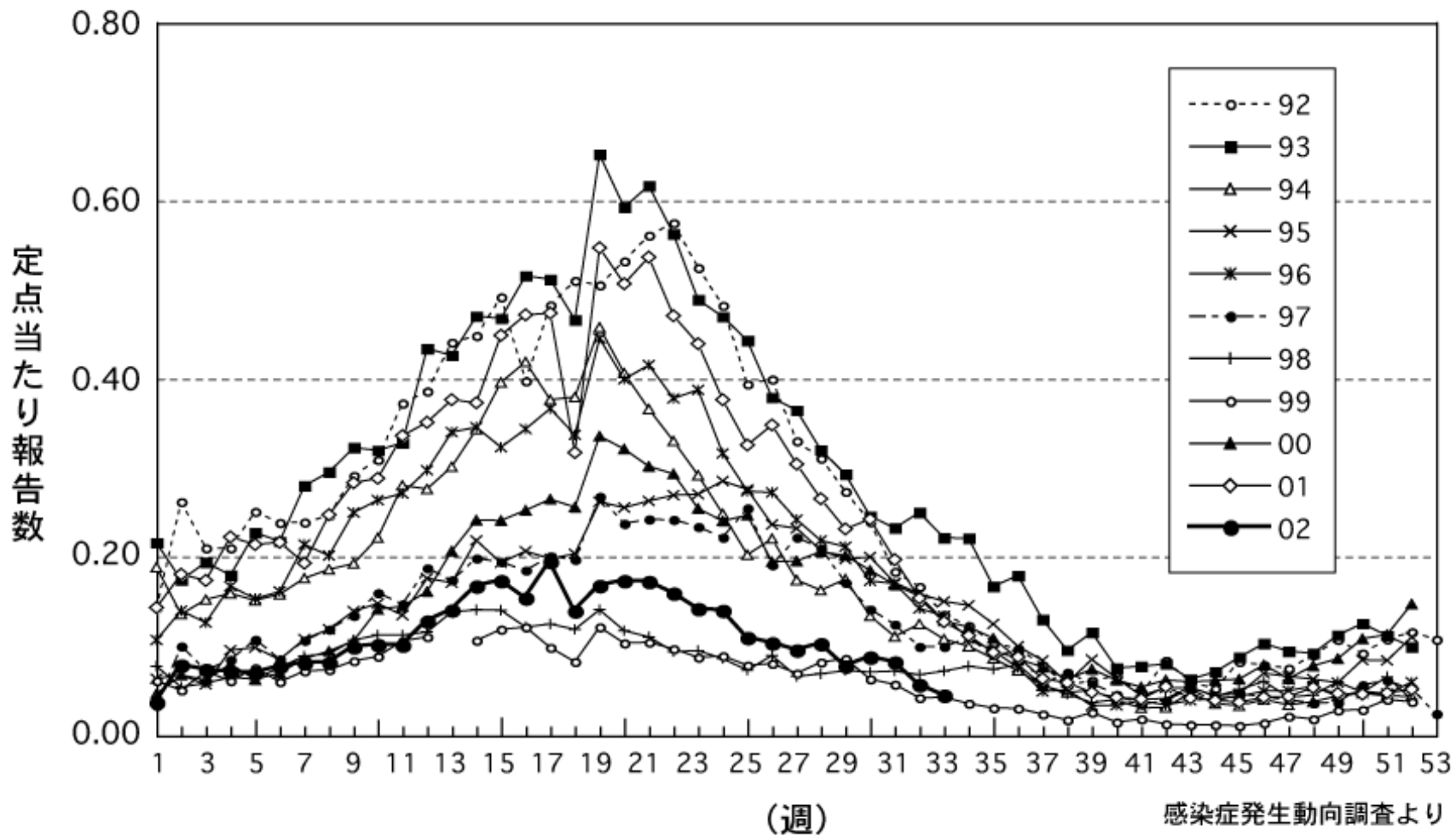


図8a 都道府県別麻疹患者発生状況 感染症発生動向調査より () 内数字は都道府県数

a. 小児科定点からの麻疹患者報告数

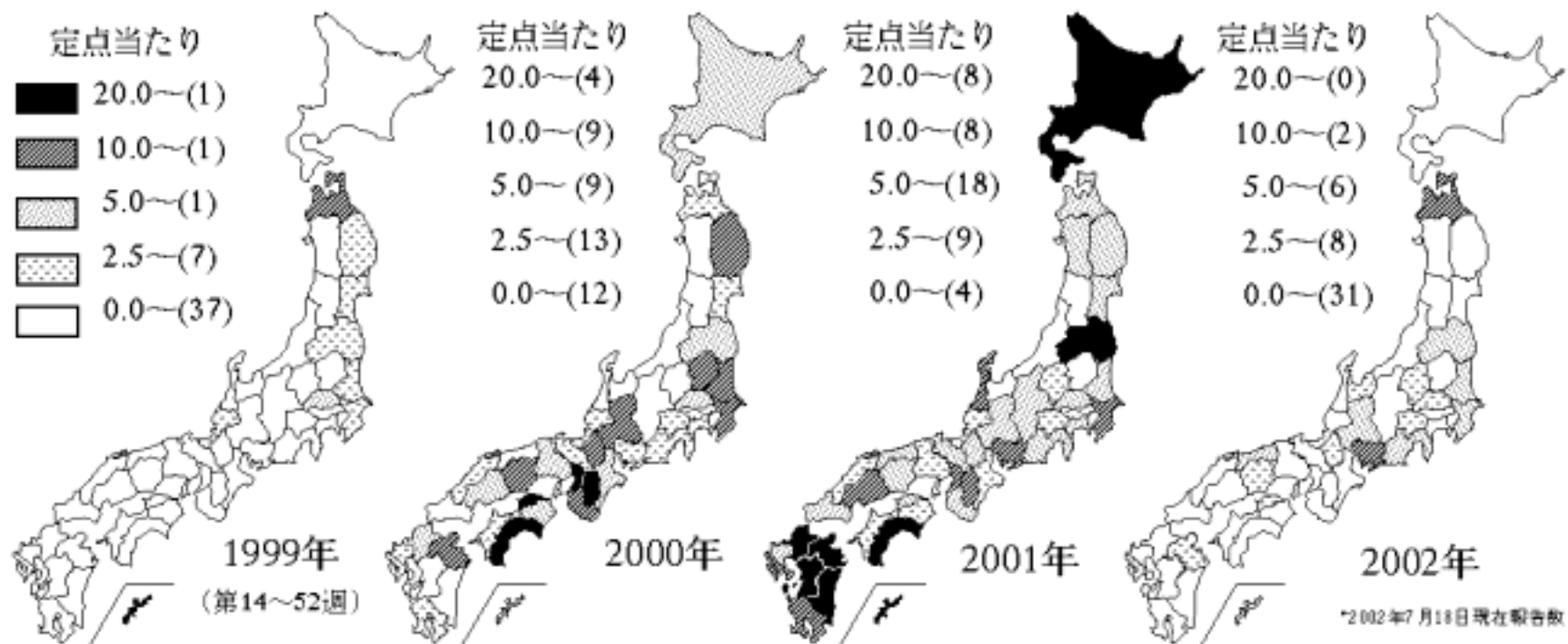
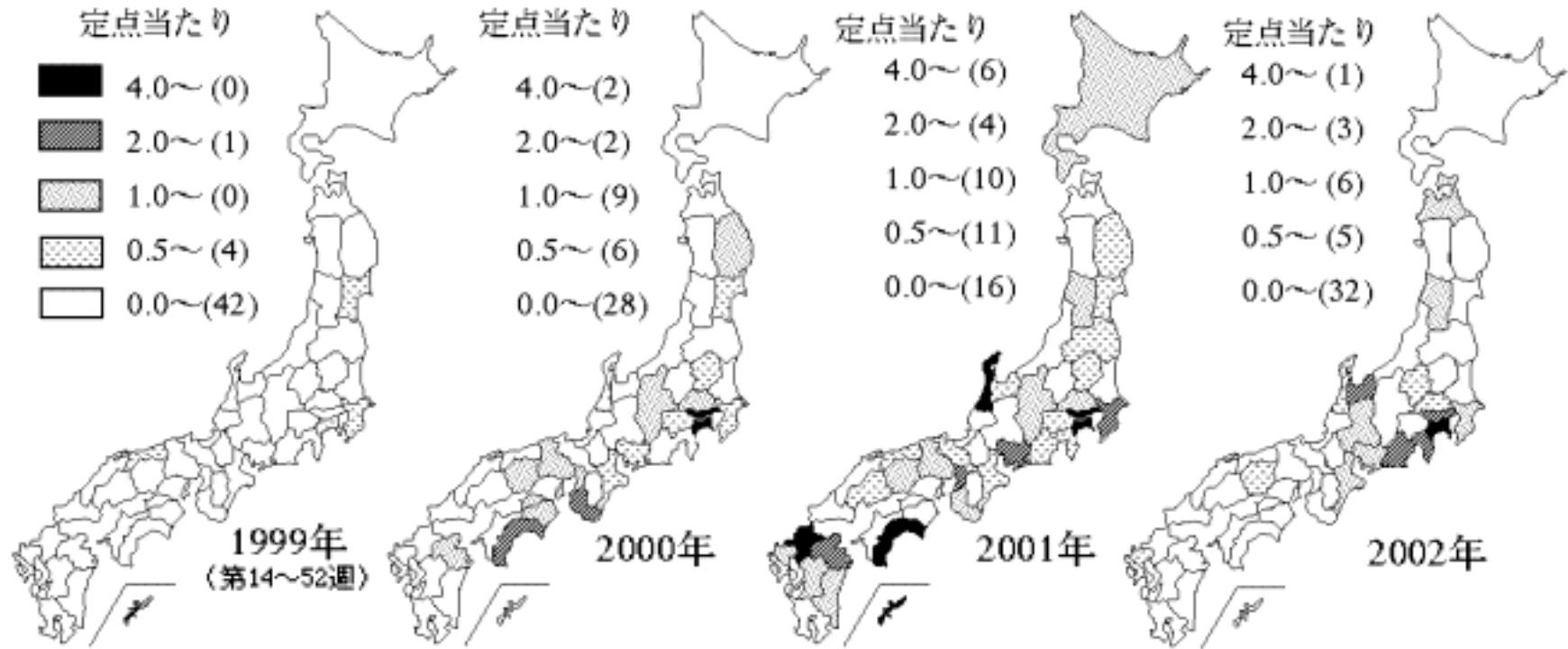


図 8 b 都道府県別成人麻疹患者発生状況 感染症発生動向調査より

b. 基幹病院定点からの成人麻疹患者報告数



() は都道府県の数を示す。

*2002年7月18日現在報告数

図9 年齢・年齢群別麻疹 PA 抗体保有率、2001(平成13)年
 2001(平成13)年度 感染症流行予測調査より

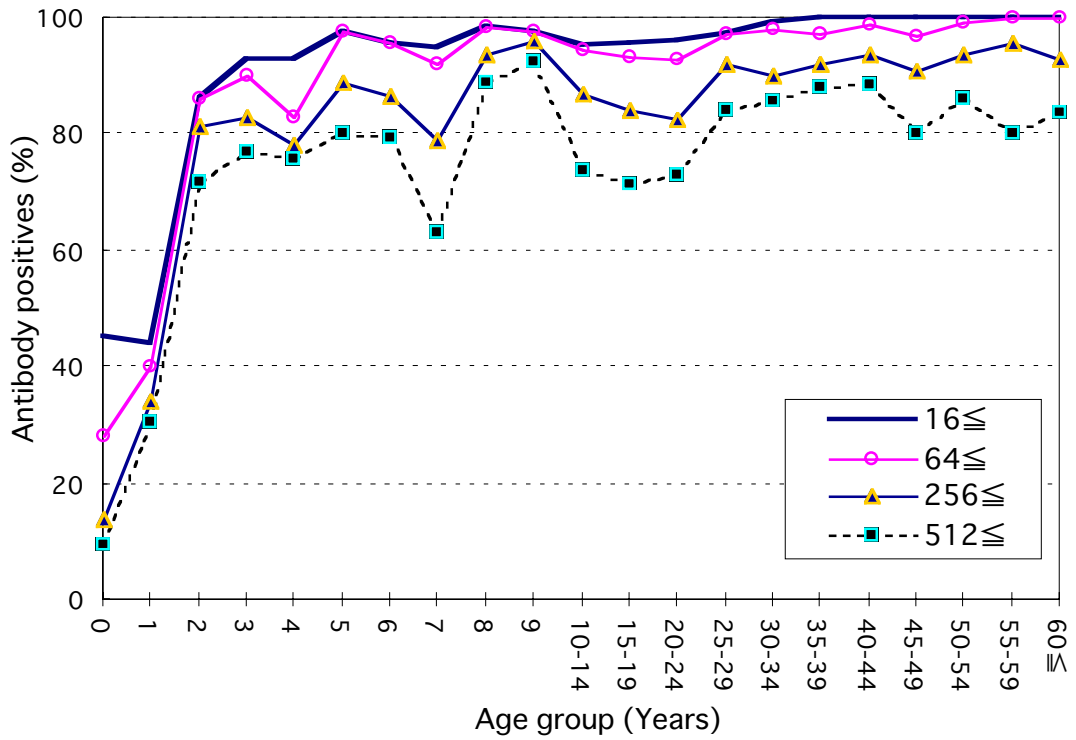
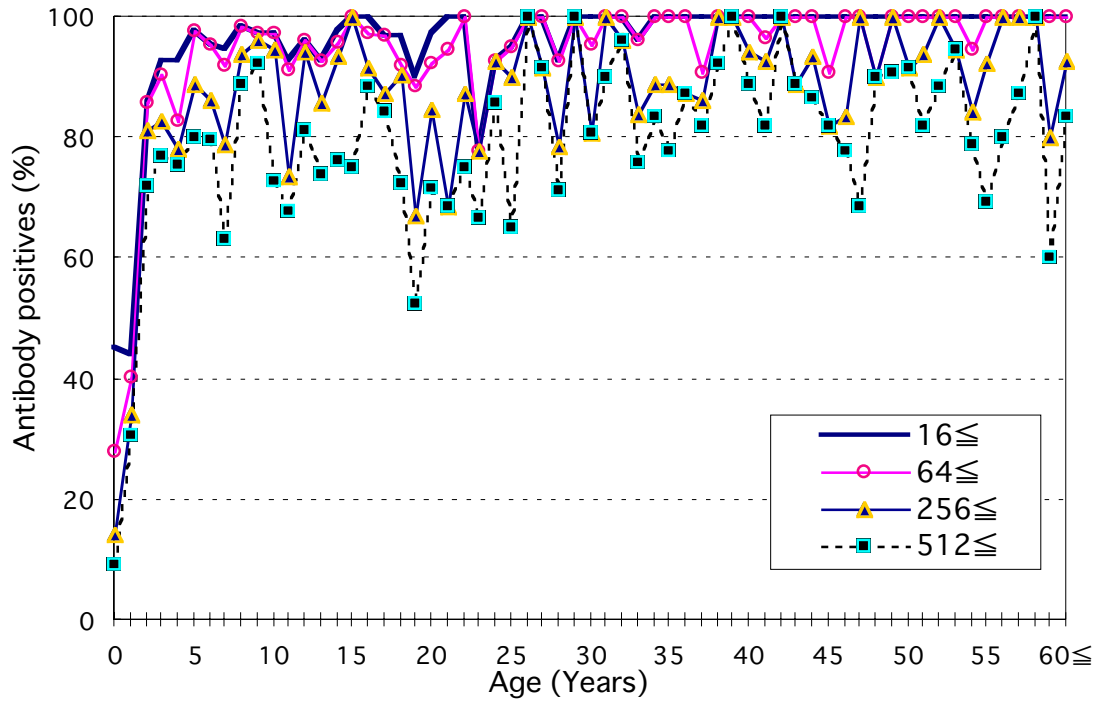


図 10 ワクチン未接種者における年齢群別麻疹 PA 抗体保有率、2001 (平成 13) 年
 2001 (平成 13) 年度 感染症流行予測調査より

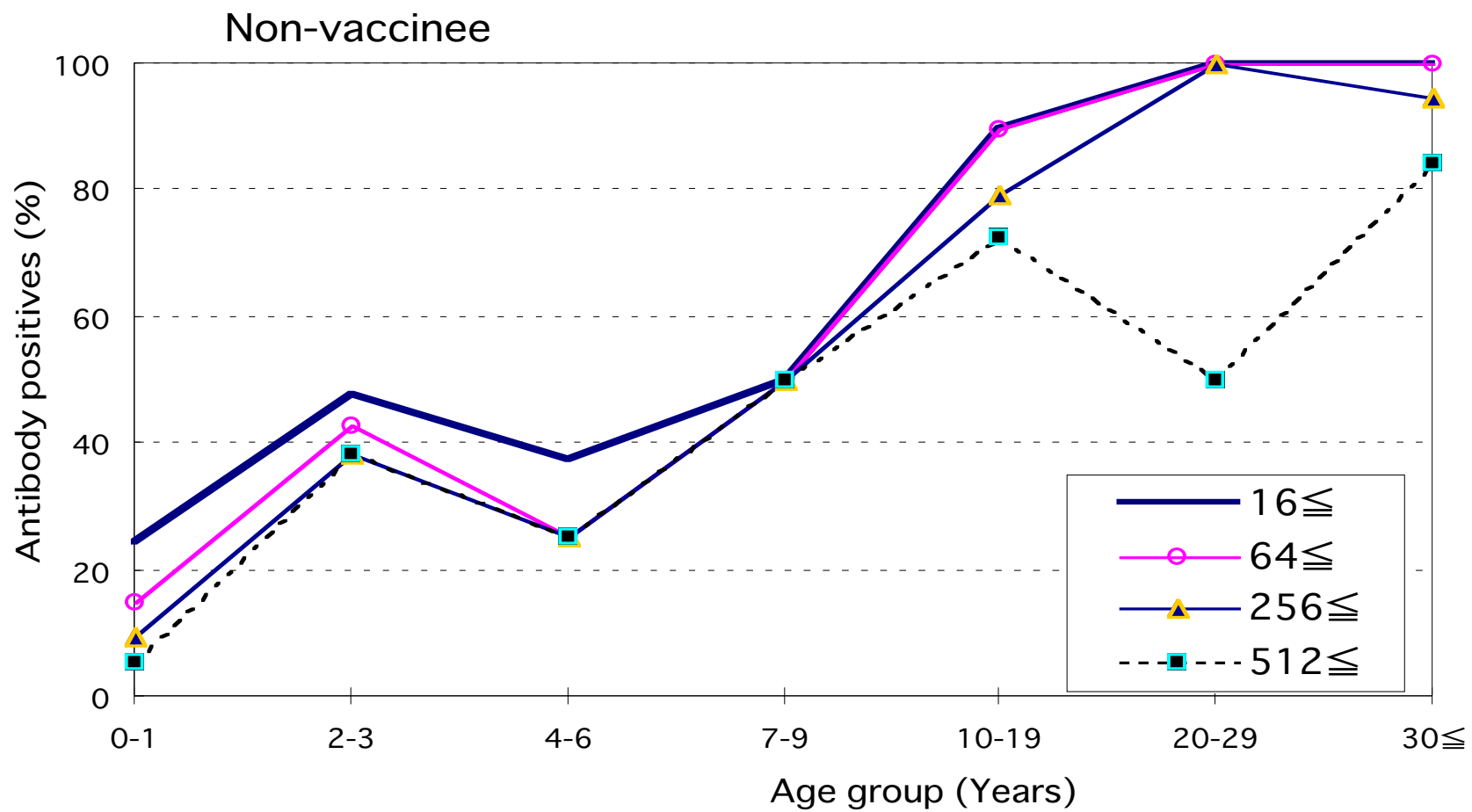


図 1 1 日本における麻疹感受性者数の推計、2000(平成 12)年
2000(平成 12)年度 感染症流行予測調査より(グラフ内数字人数)

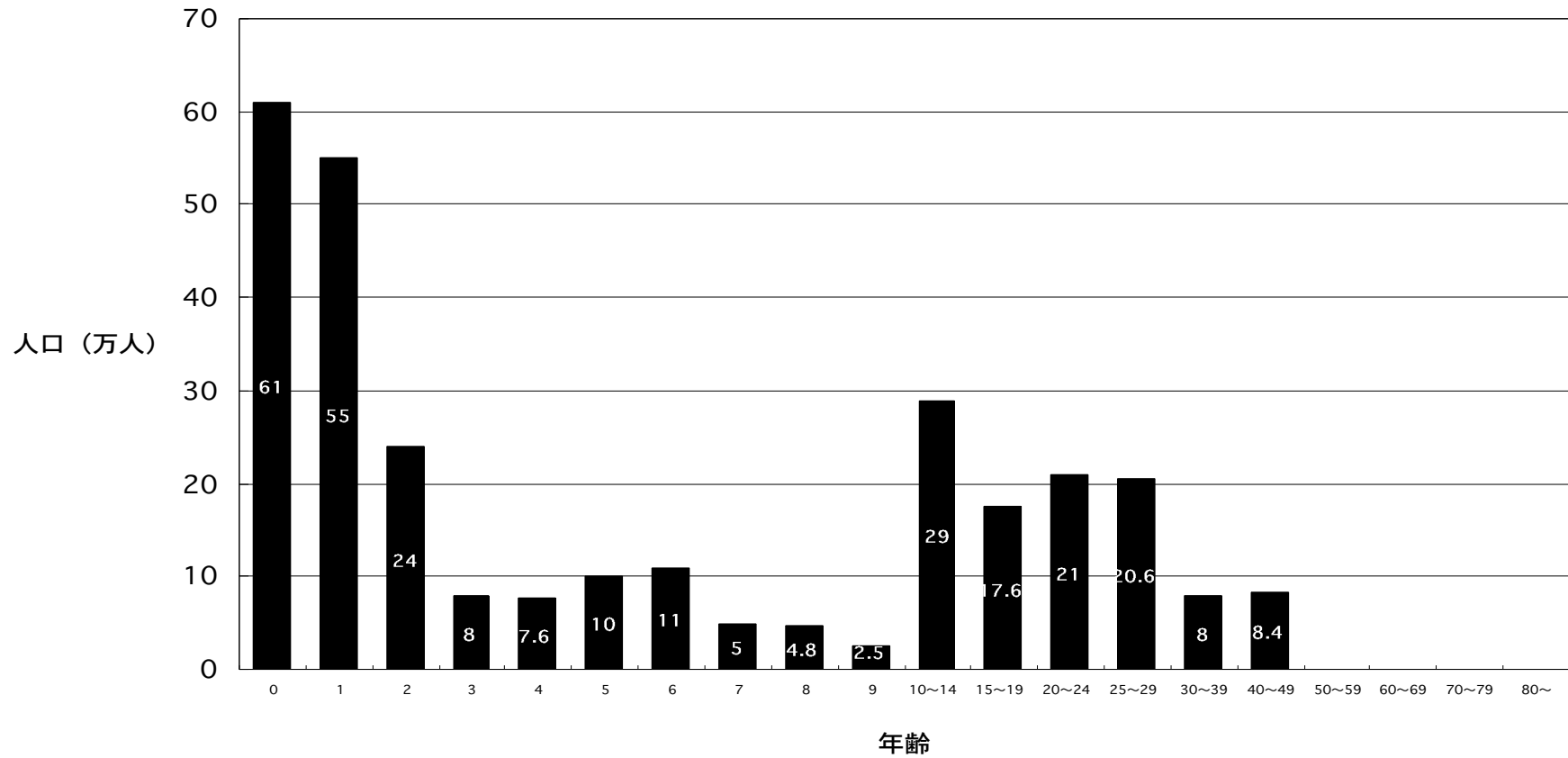
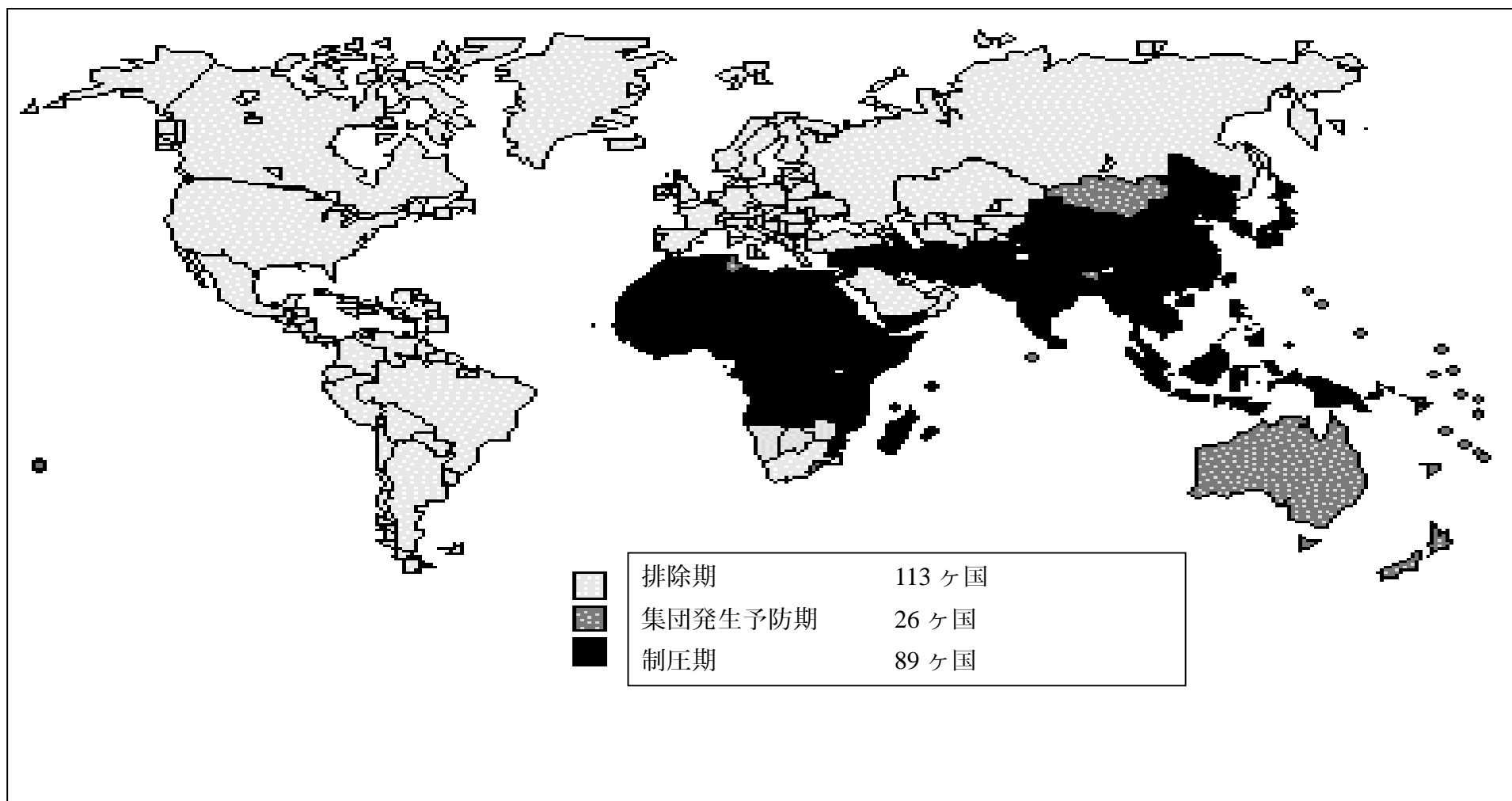


図12 世界における麻疹の排除の状況



出典) WHO/GP

図 1 3 麻しんワクチン接種者における年齢群別
 麻疹 PA 抗体保有率、2001 (平成 13) 年
 2001 (平成 13) 年度 感染症流行予測調査より

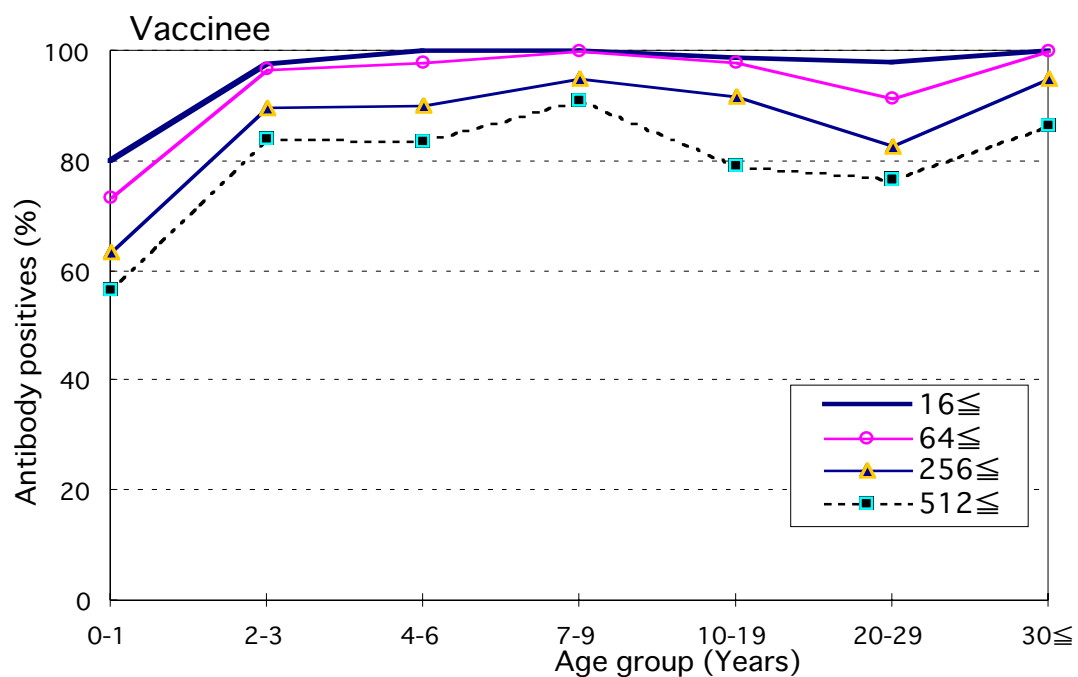


図14 麻しんワクチン後健康状況調査累計報告 1996（平成8）～2000（平成12）年度

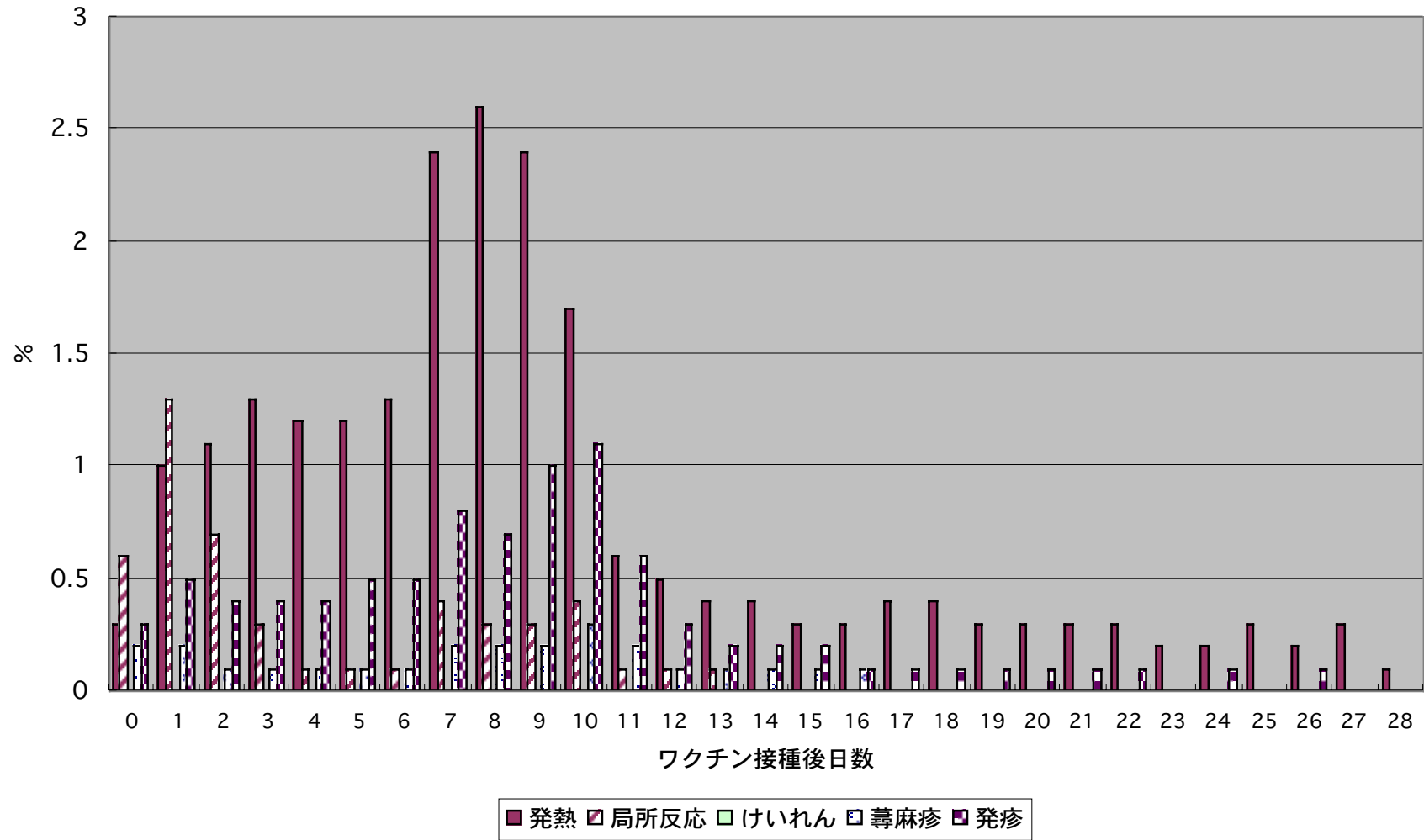


図15 1995（平成7）年度～2000（平成12）年度 麻疹ワクチン副反応報告の推移
予防接種後副反応報告書 集計報告書より

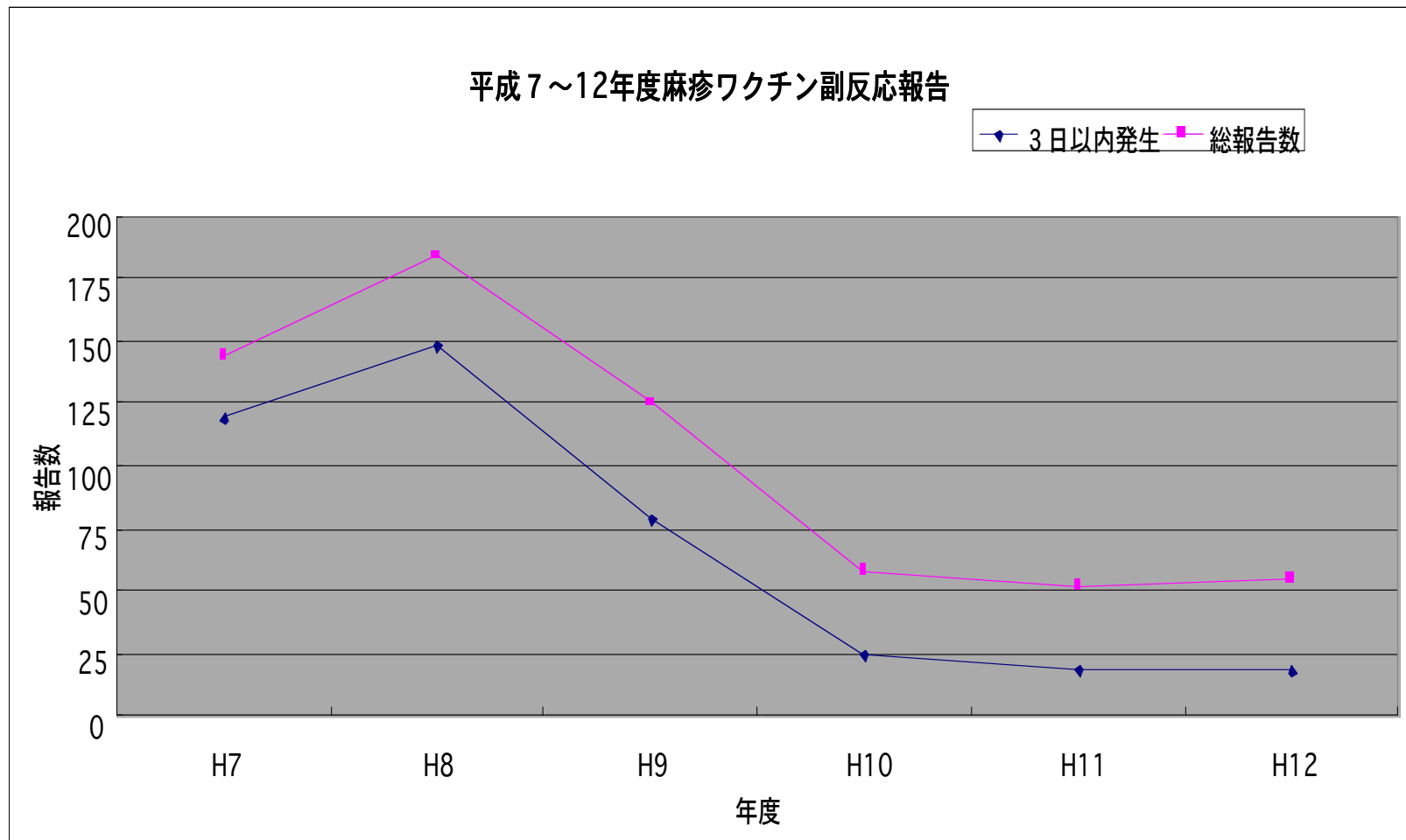


図16 麻しんワクチン実施率 厚生省（現 厚生労働省）1978（昭和53）年～2000（平成12）年（%）

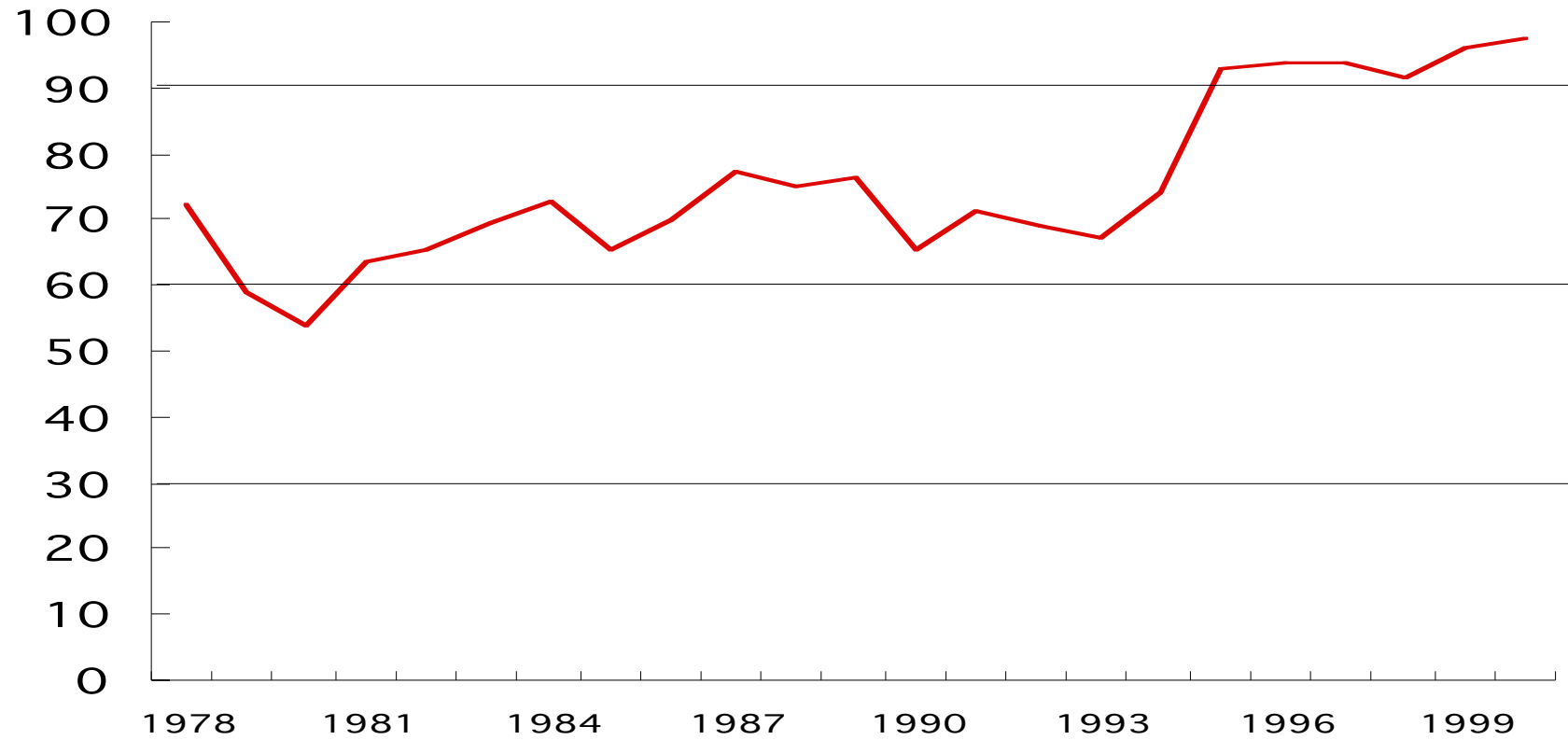


図 1 7 年齢別麻疹ワクチン、MMR ワクチン接種率 2001（平成 13）年度 感染症流行予測調査より

